

# ファーマパッケージング事業の成長戦略

2022年11月16日

上席執行役員 ファーマパッケージング事業部長

岩佐 昌暢



# 目次

---

**1 損益の推移（2022年度 第2四半期累計）**

**2 市場環境および成長戦略**

**3 商品ポートフォリオの拡充と市場カバー率の拡大**

**4 安定供給体制の整備**

**5 生産性の向上**

# 損益の推移状況

[単位：億円]

勘定科目	2021年度 第2四半期累計	2022年度 第2四半期累計	増減額	前年比率
【売上高】	264.9	279.9	+15.0	106%
(うち外部顧客への売上高)	234.1	250.4	+16.2	107%
【売上原価】	207.0	220.1	+13.1	106%
【売上総利益】	57.9	59.8	+1.9	103%
(売上総利益率)	21.8%	21.4%		
【販売費及び一般管理費】	36.8	38.8	+2.0	105%
【営業利益】	21.1	20.9	▲0.2	99%
(営業利益率)	8.0%	7.5%		

# 地域別の損益推移

[単位：億円]

## 売上高

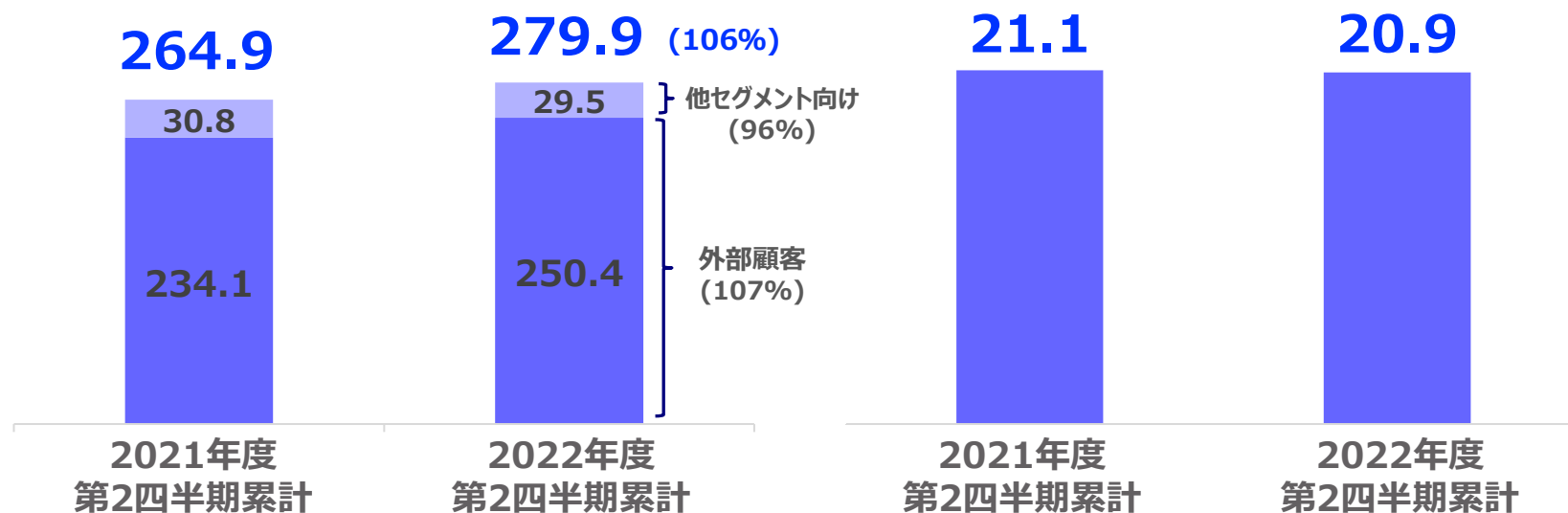
2021-2022年度の売上高増減要因

- ◆ 欧米・インド市場における需要拡大
- ◆ 中国市場においてコロナ需要が一服
- ◆ 円安シフトによる売上増

## 営業利益

2021-2022年度の利益増減要因

- ◆ 増収および操業度向上により売上総利益増
- ◆ エネルギー、材料費、労務費等による製造原価、販管費の増加



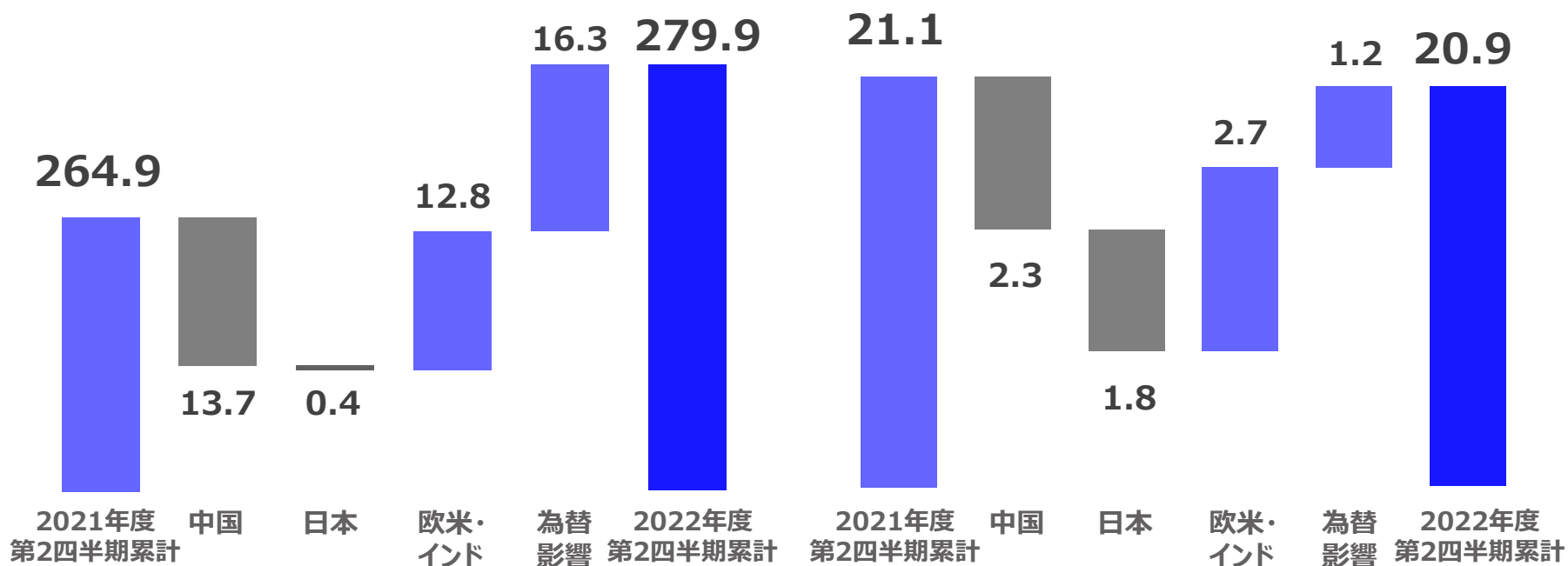
レート	2021年2Q	2022年2Q
USD	108.45	124.52
EUR	130.46	135.16
CNY	16.76	19.13
INR	1.49	1.64
RUB	1.45	1.80
HRK	17.58	17.92

# 損益推移 上半期 (売上高・営業利益)

[単位：億円]

## 売上高

## 営業利益



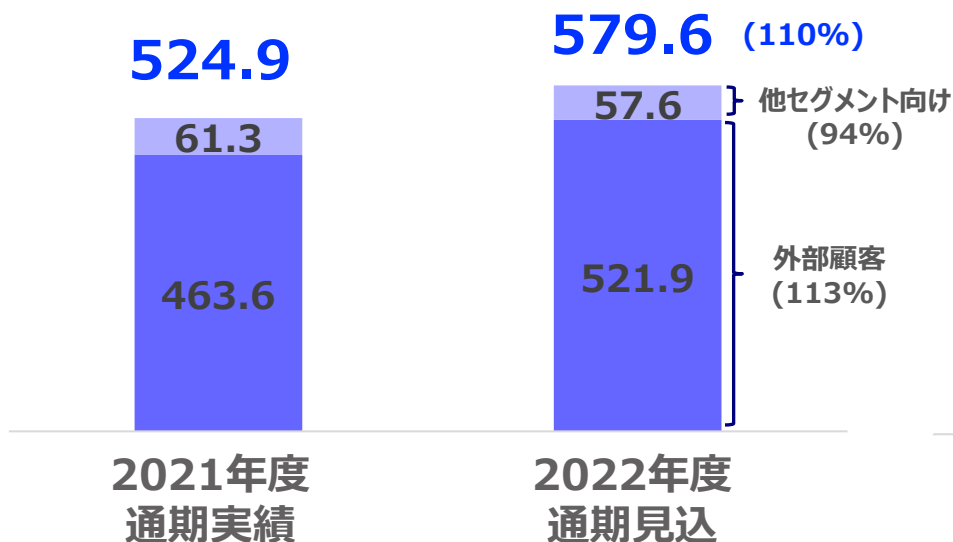
レート	2021年2Q	2022年2Q
USD	108.45	124.52
EUR	130.46	135.16
CNY	16.76	19.13
INR	1.49	1.64
RUB	1.45	1.80
HRK	17.58	17.92

# 損益推移 通期見込 (売上高・営業利益)

[単位：億円]

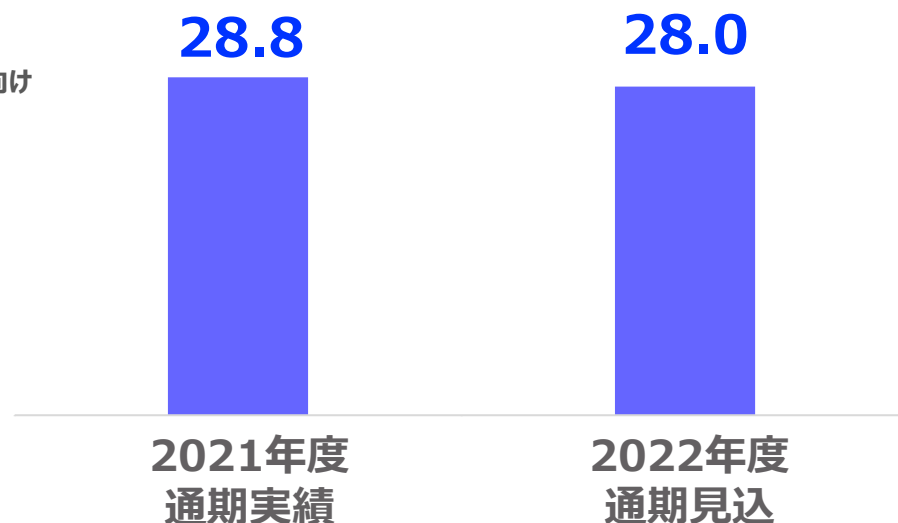
## 売上高

- ◆ 欧米・インド市場は引き続き堅調に推移
- ◆ 中国市場は大幅減収で着地の見込み
- ◆ 日本は生地管、医療機器が伸長



## 営業利益

- ◆ インフレによるコスト増や大型設備の稼働を控えるため、下期の収益は減速見通し
- ◆ 価格値上げ対応を継続するとともに各拠点毎の課題解消を通じて利益を確保



# 市場環境

## 医療先進国

- 注射剤から経口・徐効製剤への移行
- ペイシャント・フレンドリーなデバイスの浸透

## 医療新興国

- ジェネリック薬品向け容器の需要急拡大
- グローバル基準容器への移行

## 全世界共通

- ポスト・ウィズコロナを見据えたヘルスケア政策推進
- 予防・在宅医療の推進
- ワクチンや感染症薬の安全保障・サプライチェーンの再構築
- 製剤メーカーのReady to Use品への移行

## 成長戦略

- 国ごとの需要とトレンドに応じた製品供給・開発
  - …Key Word「商品競争力の向上」「市場カバー率の拡大」
- 地産地消による各市場ごとのプレゼンス向上
  - …Key Word「安定供給体制の整備」「生産性の向上」

# 成長戦略の概要

## 商品競争力の向上

- 顧客ニーズの迅速な商品化
- 価格競争力に秀でた開発体制
- 既存商品の高品質化・高付加価値化
- スペシャリティ領域における新規医療用デバイス機器の開発

## 安定供給体制の整備

- 生産能力の段階的増強
- 地産地消のための製造拠点設置
- BCP対応の整備
- 柔軟なサプライチェーン体制の構築

## 市場カバー率の拡大

- 新規市場の開拓
- 成長市場における販促強化
- プレミアム製品のシェア向上
- ワンストップソリューションの提供

## 生産性の向上

- 工程の自動化
- 製造拠点間の生産ミックスの最適化
- 製品ポートフォリオの合理化
- グローバルスケールでのサプライチェーンの高度化



# 商品ポートフォリオの拡充・市場カバー率の拡大

## ■ シングルユースバッグ



- 海外からの調達不安を解消するため、日本国内での開発、製造を検討。品質面の向上や、様々な要求仕様にも可能な限り柔軟に対応を行い、国内主要製薬メーカーへの供給を開始

## ■ LInC™ (滅菌済シリンジ)



- 滅菌済ガラスシリンジ(D2F™)に密閉性および操作性を向上させたキャップを装着。ワクチン向け標準仕様

## ■ Vialex™ (バイアル)



- 溶出物・デラミネーションのリスクを大幅に低減するバイアル【バイオ製剤向け】
- 欧州・アメリカ・インドで多数の新規プロジェクトが進行中
- グローバル3工場(日本・ドイツ・アメリカ)での製造体制を強化

# 安定供給体制の整備

- 医薬品の一次ガラス包装容器の需要はコロナ以前から大きく伸長
- 以下のバリューチェーン内の製品群について、生産キャパシティの大幅な拡張を実施中

## 医薬品の一次容器製品のバリューチェーン

内は増産対応中の拠点(国)を表示



※パーセント表示は、2023年末時点での生産能力の増加割合

# 安定供給体制の整備（ガラス管工場）

- フランス・オマール工場のガラス管新工場は、コロナによる影響もあったが、ほぼ計画通りに竣工した
- 既に窯炉の火入れを行い、今年12月より商用生産を開始する



新工場の外観（2022年10月）



ベテランスタッフによる火入れ式の様子

# 安定供給体制の整備（アンプル）

- 昨年度買収したクロアチアの製造拠点において、アンプル生産設備増設のための製造棟を増築した
- 2022年11月の稼働に向け準備中（段階的に製造ラインを増設）



新工場の建設状況（2022年10月）



ニプロファーマパッケージングクロアチアの外観



# 生産性の向上（インフレや人員不足への対応）

## 【安定供給の阻害要因】

- 欧米の製造拠点を中心に大幅なインフレに見舞われ関連コストが 軒並み増加（右記）
- コロナ感染に伴う出勤率低下(欧)、ロックダウン(中)、採用難(米)による人員不足

## ■ 対前年度上期比（概算）

コスト	インフレ率
材料費	+8%
労務費	+9%
エネルギー	+19%

## 【具体的な施策-実施済または進行中】

- タクトアップや省人化による生産性の向上
- 労働環境の整備およびシフトアップによる増産体制の構築
- 原材料の調達先の見直しと品質の再評価
- 顧客向けの価格改定・インフレ対策としてのサーチャージの提示

---

ファーマパッケージング事業部は、  
医療・医薬の分野で培った技術とノウハウを基に、  
**医薬用総合容器メーカー**として、  
真に必要とされる**先進的商品を供給**することで  
事業拡大を行い、  
**世界中の人々の健康に貢献**して参ります。